

宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会 令和2年度事業報告(案)

2	実施	事業名	実施時期	対象	予算(円)	決算(円)	摘要
(1)教育事業	○	①(国史跡)宇佐美小学校見学支援	11/6	宇小6年児童	0	0	60名
小計					0	0	
(2)保全整備事業	○	②(国史跡・伊豆古道)パトロール	2/20・21	—	0	0	教委から協力依頼
	○	③(国史跡)「御石公園」清掃	10/3・4・21	—	0	0	
小計					0	0	
(3)啓発活用事業	○	④(国史跡)東京シティガイドクラブ研修支援(3回目)	3/14	60名	0	0	リモート研修
	○	⑤狩野川台風写真展	9/18～10/29	不特定多数	1,000	1,000	実行委員会
小計					1,000	1,000	
(4)研究事業							
小計					0	0	
(5)その他事業	○	⑥(国史跡)保存活用委員会参加協力	12/25 3/24	—	0	0	
	○	⑦(国史跡)保存活用計画勉強会	10/2 11/11	諸団体	3,200	3,200	
	×	⑧キャラクター著作権登録		—	18,000	0	準備整わず
	○	⑨宇佐美城山に係る情報収集等	随時	—	2,000	0	含 対策チーム参加
	○	⑩「文化財保存活用地域計画促進協議会」設置準備			0	0	頭出しのみ
	○	⑪「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」申請・認	3/25	—	0	0	
小計					23,200	3,200	
合計					23,200	4,200	

- *1 事業名欄の(国史跡・伊豆古道)の記載は、対象を示すもので、必ずしも両方に関わる事業を実施することをいうことではない。
- *2 「実施」欄の○印は実施したことを示す。×印は、計画はしたが未実施を示す。
- *3 事業の実施及びその他の活動に係る伊東市・関係者等との日常的な打ち合わせ等については、上表に記載はしていない。
- *4 会員の労務に係る経費(人件費)は計上しない。
- *5 事業の実施に係る資料の作成等の軽微な経費は、管理費の内の事務局経費に含む。
- *6 本紙に記載以外の事項は、別紙「事業費内訳(決算)」による。
- *7 事業及び日常活動の詳細は、その都度eメールで会員に報告している。(令和2年度の報告回数は142回)
- *8 「⑨狩野川台風写真事務局」は実行委員会形式で実施。保存会の他に、宇佐美区、宇佐美小学校、後に宇佐美中学校が加わった。
- *9 令和2年度の事業計画は「⑧キャラクター著作権登録」及び「⑨宇佐美城山に係る情報収集等」のみ。その他の事業は年度途中に追加されたもの。
(コロナ禍の中で事業実施の見通しが立たないため、令和2年度当初の事業計画に記載したのは⑧、⑨の事業のみ)

宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会 令和2年度事業の目的

事業区分	事業名	目 的
(1)教育事業	①(国史跡)宇佐美小学校見学支援	実地見学により、児童の国史跡に対する関心を深める
(2)保全整備事業	②(国史跡・伊豆古道)パトロール・除草等	管理者と協議しつつ維持管理に協力する
	③(国史跡)「御石公園」清掃	公園管理者と協議しつつ国史跡の玄関口の美化をはかる
(3)啓発活用事業	④(国史跡)東京シティガイドクラブ研修支援(3回目)	研修の受け入れをすると共に交流をはかる
	⑤狩野川台風写真事務局	宇佐美区、小中学校と共に、市民の歴史に対する関心を醸成する
(4)研究事業		
(5)その他事業	⑥(国史跡)保存活用委員会参加	保存活用委員会に委員を送り委員会に協力する
	⑦(国史跡)保存活用計画勉強会	保存活用計画策定に係る諸団体との勉強会を主催する
	⑧(国史跡)キャラクター著作権登録	文化庁へキャラクターの著作権登録をする
	⑨宇佐美城山に係る情報収集	宇佐美城山の地主の動向に係る情報収集を行う
	⑩「文化財保存活用地域計画促進協議会」設置準備	市内の歴史文化遺産の計画的、総合的な保存活用計画作成を促進する
	⑪「ふじのくに文化財保存・活用推進団体」申請・認定	県知事から文化財保存・活用推進団体に認定を受け、活動を充実させる